

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

焼津市地域公共交通会議 (焼津市)

平成22年1月15日設置

令和5年5月25日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和6年5月27日 焼津市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和6年4月～令和11年3月)

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

焼津市地域公共交通計画（R6～R10）

● 基本的な方針

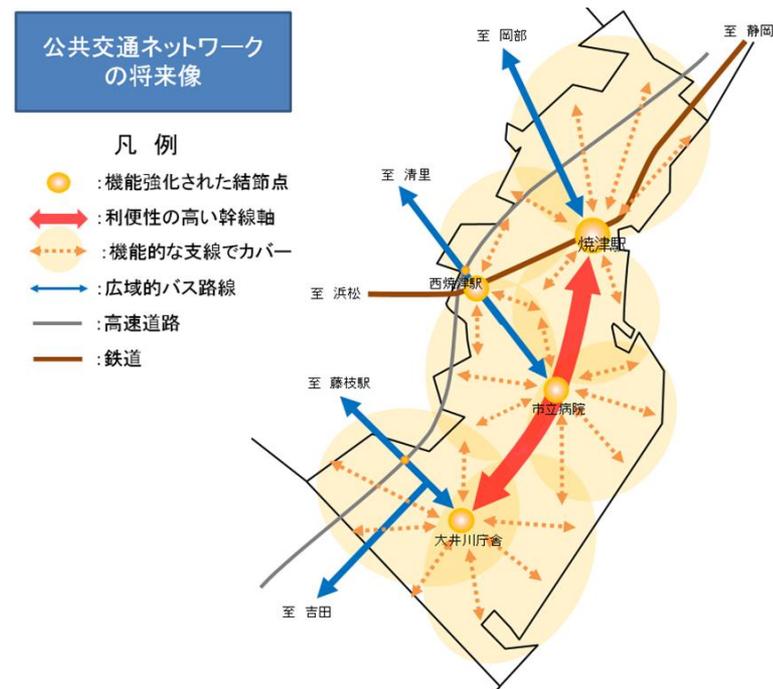
**「市民が暮らしやすく 誰もが移動しやすい
交通環境が充実したまち やいづ」**

【目標1】 利用者需要や地域ニーズに的確に対応した公共交通の整備

【目標2】 まちづくりと連携した幹線軸と支線による公共交通ネットワークの形成

【目標3】 結節点における乗り継ぎ利便性や結節機能の向上

【目標4】 交通事業者、地域住民、行政の協働による公共交通の利用促進



大井川地区の公共交通再編 (R4.4~)

再編前

- 大井川西部循環線は2時間に1本運行
- 焼津大島線は大井川地区を運行せず



再編後



住民意向調査や大井川分科会の意見を反映して交通網を再編

ファイダー

大井川西部循環線を廃止、デマンド型乗合タクシーを導入

- ダイヤが2時間に1本から1時間1本に
- 既存の停留所に加えて、地域の要望など40箇所以上を追加

焼津大島線を大井川地区まで延伸

- 焼津駅から大井川庁舎まで市内を縦断する幹線軸
- 6時~22時台まで、30分に1本の運行

■ 焼津大島線の延伸

- 焼津駅~大井川庁舎までを結ぶ幹線軸
- 6時台~22時台の運行
- 30分に1本程度

ファイダー

大井川地区デマンドタクシー

- ワゴン車両2台
- 1時間に1本運行
- 路線バスとの乗継ぎ

地区内の公共交通利用者数

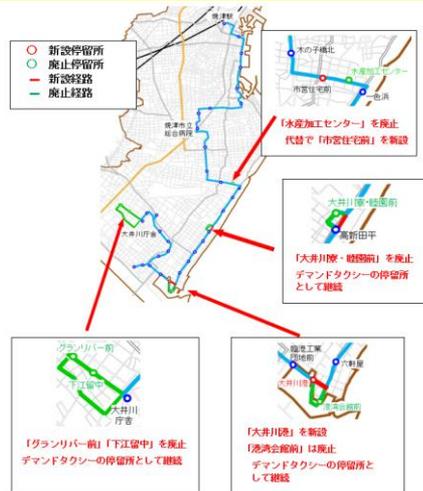
令和3年度 [再編前]	24,962人
(大井川西部循環線・大井川焼津線)	
↓	
令和5年度 [再編後]	39,299人
(焼津大島線※地区内の停留所のみ・大井川焼津線・大井川地区デマンドタクシー)	

➡バスとデマンドを組合わせた交通網により利便性が向上し、地域住民の公共交通利用者数の増加が図られた。今後も大井川分科会で改善策を協議しさらなる利用促進を図る

フィーター

大井川焼津線の経路改善 (R5.8)

- ・焼津駅、市立総合病院まで約10分の短縮
- ・廃止停留所は、くるりん号の乗降場所として存続



➡変更後、通勤客を得て利用者数が増加

大井川焼津線利用者数

R 4.8～R 5.7 [変更前]	15,581人
R 5.8～R 6.7 [変更後]	17,568人

フィーター

大井川庁舎内に待合スペース設置

停留所に庁舎内の待合コーナーの案内



・バスやデマンドタクシーが見えるようベンチを設置
・庁舎発時刻を表示



グリスロ「つなモビ」の実証実験

地域の活性化や交通課題の解消を目指す民間事業者によるグリスロ車両運行の実証実験を実施
➡観光・交通・まちづくり・外出支援など市の関係部局が連携して、効果を検証する

令和6年度の運行内容



- ★ 7人乗りの低床車両
- ★ 時速19 km以下で街並みを走行



★ 45箇所の乗降場所に乗り放題(700円)

- ★ 乗降場所である地域の商店が自らSNS等で情報発信
- ★ 観光・ビジネス客が、地域住民と交流

市と連携した利用促進



- 市のLINE上の専用ボタンから直接予約と決裁が可能
- 外出支援「お出かけチケット」に1回分のおためし乗車券
- 路線バスとつなモビに乗りお買い物巡りする「地域再発見の旅」を開催

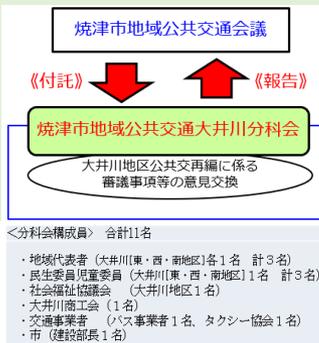
2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

地域との連携・意見交換

大井川分科会

大井川地区にとって望ましい運行となるよう、地域の方々に構成した分科会を設置。課題を共有し、運行内容や周知方法について意見交換を行っている。

➡停留所の追加や、愛称やデザインの決定など、毎年改善策を実施



R4.1 大井川地区再編に向けた地元説明会

（計8回 298名参加）



焼津 I C 周辺地域 協議会

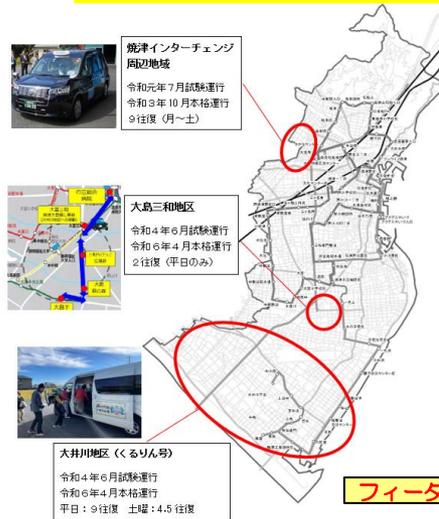
交通空白地域であったこの地域で協議会を立ち上げ、運行内容の協議や登録の呼びかけ、周知を行った結果、令和3年度から市内で初のデマンド型乗合タクシー本格運行となった



➡地域が主体となって本格運行に至った事例

デマンド型乗合タクシーの利用促進

市内3地域でデマンド交通を運行
各地域で利用が定着してきている



■デマンドタクシー利用人数（単位：人）

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
焼津インターチェンジ 周辺地域	204	240	348	670	520
大島・三和地区				336	255
フィーター 大井川地区				1,464	2,609

自治会の会合やミニ
デイサービスで出前
講座を開催



令和5年度
13回430人受講

かわら版を全戸配布

利用者の方にインタビューしました

20代女性 お子様2人と大井川行まで乗車
「保育園への送迎によく利用しています。運転手さんが親切に対応してくれました」
今までは自主運行バスを利用していたが、時間が合わないことも多く、利用したタクシーを利用していたとのことで、本数が少なくて乗車しづらいとコメントいただきました。

70代男性 グランバー雨まで乗車
「グランバーへの乗り場に備わっています。利用バスより本数が増えています」
予約についてお聞きしたところ、説明会に参加して説明を聞いていたため利用したとのこと。運行に満足していますとコメントいただきました。

動画を作成 配信



焼津CITYチャンネル

愛称&デザインを公募決定



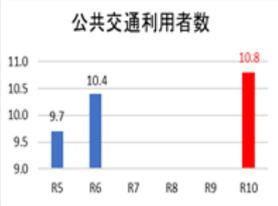
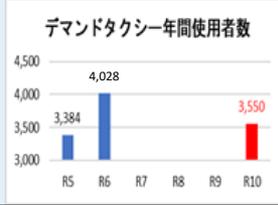
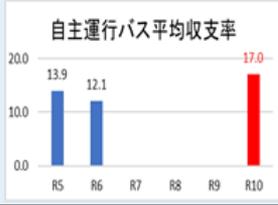
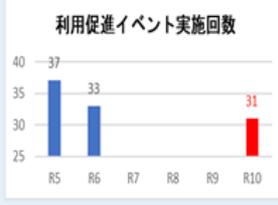
- 大井川地区では毎年停留所を追加
➡エリア内の全ての医療機関をカバー
- 当初想定していなかった、保育園の送迎や障害者の方の利用も多い
➡多様な目的で活用している

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

目標	評価指標	達成状況					考察	
		策定時 (R5)	1年目 (R6)	2年目 (R7)	3年目 (R8)	4年目 (R9)		5年目 (R10)
1 利用者需要や地域ニーズに的確に対応した公共交通の整備	① 公共交通利用者数(年間利用者数÷人口) 10.8回/人	9.7回/人	10.4回/人				目標 10.8回/人	目標には達しなかったが、前年度から約7%増加しており、コロナ禍後の回復傾向は継続している
2 まちづくりと連携した幹線軸と支線による公共交通ネットワークの整備	② 自主運行バス平均収支率 17.0%	13.9%	12.1%				目標 17.0%	利用者数及び運賃収入は増加しているものの、燃料費や人件費の高騰の方が大きく未達成となった
	③ デマンドタクシー利用者数 年間3,550人	3,384人	4,028人				目標 3,550人	くるりん号の停留所の追加や出前講座・体験乗車会の実施により利用者が増加し、3地区合計の利用者数は目標を達成した
3 結節点における乗り継ぎ利便性や結節機能の向上	④ 結節点(主要拠点)におけるバス利用者数 2,585人	2,170人	2,290人				目標 2,585人	指標①と同様に目標には達しなかったが、各結節点での利用者は増加している
4 交通事業者、地域住民、行政の協働による公共交通の利用促進	⑤ 地域による検討組織の数 4箇所	3箇所	3箇所				目標 4箇所	交通空白地域で地域の交通を検討するため組織の設置準備を進めている
	⑥ 公共交通の利用促進イベント等の実施回数 31回/年	37回	33回				目標 31回	観光協会や社会福祉協議会、地元企業や庁内各課と連携し、積極的に利用促進イベントを実施中

※R6の値は見込み値 (R6.4~R6.12までの値を年間換算したもの)

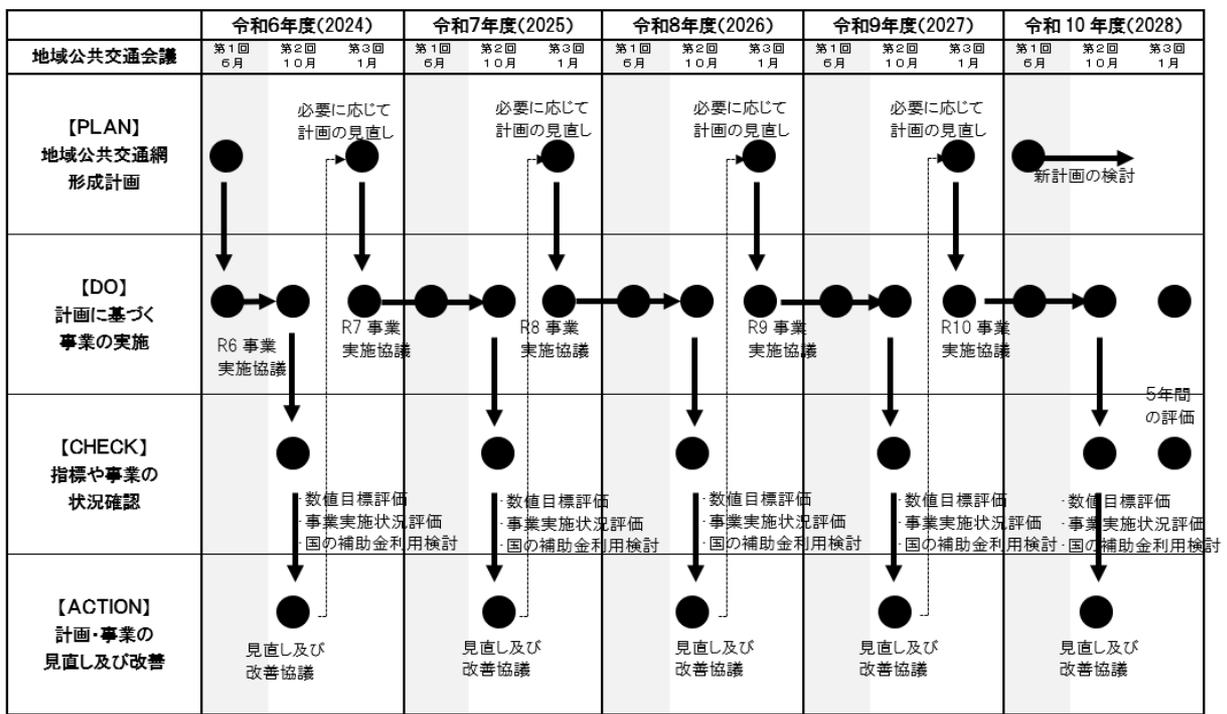
4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針の作成

目標	達成状況・分析	今後の取組方針
1 利用者需要や地域ニーズに的確に対応した公共交通の整備	 <p>公共交通利用者数</p> <p>目標には届かないが、民間路線も自主運行路線も改善傾向にあり、特に大井川焼津線は経路短縮、大井川地区デマンドタクシーは停留所追加の実施により利用者が増加している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川焼津線は、地域ニーズに対応した利便性向上を図るとともに、持続可能な運営のため効率的な運行についても検討を行う ・交通空白地域におけるデマンド運行について、地域の検討組織と協議を進める ・つなモビの実装について庁内で検討を進める
2 まちづくりと連携した幹線軸と支線による公共交通ネットワークの形成	<p>利用者数及び運賃収入は増加したが経費も増加している 3地区合計のデマンド利用者数は目標を達成した</p>  <p>デマンドタクシー年間利用者数</p>  <p>自主運行バス平均収支率</p>	<p>引き続き利用促進策の実施や、民間バスへの支援、路線効率化の検討を行い、交通ネットワークを維持する</p>
3 結節点における乗り継ぎ利便性や結節機能の向上	 <p>結節点におけるバス利用者数</p> <p>大井川庁舎停留所の風雨・避暑対策として、庁舎内に待合スペースを設置した。また、デマンドとバスの乗り継ぎ案内を出前講座等で配布した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津駅、西焼津駅、市立総合病院での乗り継ぎ案内の充実を図る ・市立総合病院については、新病院整備計画の検討を進めており、結節点として待合強化を図る
4 交通事業者、地域住民、行政の協働による公共交通の利用促進	<p>バスに乗車して市内を巡る企画や、デマンドの出前講座と乗車体験会などの利用促進策を毎月実施し、周知に努めた</p>  <p>利用促進イベント実施回数</p>  <p>地域の検討組織の数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き観光振興と連携して利用促進イベントを実施し、公共交通の周知を図る。 ・実施した内容をモデルコースとして案内し、市民の自発的なバス利用につなげていく。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
(令和6年3月21日) 前回	<p>現在策定中である「地域公共交通計画」について、昨年度同様市内各地で行われているデマンド型乗合タクシーの実証運行結果や公共交通に関する住民アンケート等を踏まえ、持続可能な地域公共交通を実現するための取組が盛り込まれた計画の策定を期待します。</p>	<p>市内路線の利用状況や、利用者アンケート、交通空白地域における説明会での意見、大井川分科会での協議等を踏まえ、計画の策定を行いました。</p>	<p>地域公共交通計画に基づき、施策の取組と達成状況の評価を行い、持続可能な地域公共交通の実現に努めます。</p>
	<p>「大井川焼津線」については、引き続き「大井川分科会」を活用して利用実態の把握に努め、利用しやすい運行を検討されることを期待します。</p>	<p>大井川分科会では毎回、大井川焼津線とくるりん号の利用状況分析と利用促進策を協議し、内容を公共交通会議に報告しています。</p>	<p>引き続き分析と協議を行い、路線のあり方について検討を行っていきます。</p>
(令和5年3月10日) 前々回	<p>令和5年度に策定を予定している地域公共交通計画では、市内各地で行われているデマンド型乗合タクシーの実証運行結果や公共交通に関する住民アンケート等を踏まえ、持続可能な地域公共交通を実現するための取組が盛り込まれた計画の策定を期待します。</p>	<p>大井川地区の再編を直近に実施し、一定期間の実績をもとに今後の目標を定め計画を策定することについて、公共交通会議で承認を得て、現計画を1年間延長しました。</p>	<p>地域公共交通計画に基づき、施策の取組と達成状況の評価を行い、持続可能な地域公共交通の実現に努めます。</p>
	<p>焼津IC周辺地域デマンド型乗合タクシーについては、利用者数や乗合率が低迷していることから、大井川地区同様、相談会や出前講座を積極的に実施されることを期待します。</p>	<p>新たにかわら版を全戸配布して啓発を行うとともに、停留所の診療所と連携して通院客への利用呼びかけを行っています。</p>	<p>引き続き啓発を行い、乗合率と利用者数の増加を図っていきます。</p>
	<p>市の公共交通体系に影響を及ぼす可能性のあるモビリティ実験等については、庁舎内他部署とも連携のうえ情報収集に努めるとともに、公共交通会議等の場で積極的に情報共有を図っていただくようお願いします。</p>	<p>観光、福祉、交通、都市整備等の庁内関係部署で連携して課題や目標設定を行っています。公共交通会議では事業者による説明を行い情報共有を図りました。</p>	<p>実証実験の結果を踏まえ、庁内関係部署で連携して、今後の実装可能性について協議を行っています。</p>

6.計画・評価の推進体制

計画の推進と評価



焼津市地域公共交通会議の開催状況（令和6年）

令和6年1月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）について 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について 令和6年度路線バス単独継続困難路線の対応について
令和6年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> 焼津市地域公共交通計画（案）について
令和6年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 焼津市地域公共交通計画（案）について 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）について
令和6年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> くるりん号の運行改善策について グリスロ実証実験「つなモビ」について

焼津市大井川分科会の開催状況（令和6年）

令和6年5月21日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 大井川焼津線及びくるりん号の利用状況について 焼津市地域公共交通計画（案）について
令和6年8月7日	<ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 大井川焼津線及びくるりん号の利用状況について 焼津市地域公共交通計画の策定について 利用促進策と運行改善策について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日 (別添1)

協議会名: 焼津市地域公共交通会議

評価対象事業名 大井川焼津線運行事業・大井川地区デマンドタクシー運行事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
しずてつジャストライン株式会社	<p>[大井川焼津線運行事業]</p> <p>大井川庁舎～ 焼津市立病院前～ 焼津駅前</p> <p>[大井川焼津線運行事業]</p> <p>焼津駅前～ 焼津市立病院前～ 大井川庁舎</p>	<p>・焼津市地域公共交通網形成計画及び焼津市地域公共交通計画に基づき、機能的な支線として運行を維持するとともに、利用促進事業を実施した。</p> <p>自己評価及び二次評価を受け、以下を実施。 ・新規の「大井川港」停留所PRのため、バスに乗車して港の歴史と食事を楽しむ企画を実施し、利用促進を図った。 ・風雨や猛暑対策として、結節点の大井川庁舎内に待合スペースを設置した。</p> <p>また、昨年に引続き以下を実施。 ・時刻表を、転入者へ配布及び沿線各施設に配架、乗り継ぎダイヤ、自治会別の時刻表の配布、バスを利用した企画「地域再発見の旅」、市職員へのバス利用啓発。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された	<p>・収支率 [目標]15.2%以上 [達成状況]7.8%【未達成】</p> <p>・焼津駅前・焼津市立病院前・グランリバー前停留所合計利用者数 [目標]16,160人以上 [達成状況]12,420人【未達成】</p> <p>【考察】利用者数は、コロナの影響から回復ができていないものの、昨年実施した経路短縮の効果により、利用者数は4月以降2割以上増加している。収支率は、運行経費の上昇により、目標値を下回る結果となった。</p>	<p>・地域による委員で構成する大井川分科会において、利用しやすい運行内容について協議検討を進めていく。</p> <p>・路線バスと自主運行バス、デマンドタクシーの結節点である大井川庁舎の機能を活かし、乗り継ぎによる利便性向上や結節機能の強化について、さらなる改善を図る。</p>
有限会社 小泉タクシー	<p>[大井川地区デマンドタクシー運行事業]</p> <p>大井川地区</p>	<p>・焼津市地域公共交通網形成計画及び焼津市地域公共交通計画に基づき、令和6年4月より機能的な支線として運行を開始した。 周知のため出前講座や体験乗車会の開催や、利便性向上のため乗降場所の追加を実施した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された	<p>・乗合率 [目標]1.1人以上 [達成状況]1.7人【達成】</p> <p>・年間利用者数 [目標]2,000人以上 [達成状況]2,565人(4月～12月)【達成】</p> <p>・高齢者登録率 [目標]15%以上 [達成状況]11.4%【未達成】</p> <p>【考察】本格運行開始後も登録者数は増加しているが、地区が広域で人口が多いため目標に達しなかった。</p>	<p>・地域による委員で構成する大井川分科会において、利便性向上に向けて検討を進める。</p> <p>・地元の会合における出前講座でわかりやすく説明するなど、社会福祉協議会と連携して周知に努める。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年1月30日

協議会名:	焼津市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>焼津市地域公共交通網形成計画及び新たに策定した焼津市地域公共交通計画に基づき、「市民が暮らしやすく 誰もが移動しやすい 交通環境が充実したまち やいづ」を基本的な方針として、路線バス・自主運行バス・デマンド型乗合タクシーによるネットワークを形成し、地域住民の快適な日常生活をサポートするためのサービスを提供することを目指す。</p> <p>本事業は、大井川地区から総合病院、焼津駅までを結ぶ自主運行バス路線と、大井川地区内を自由に運行するデマンド型乗合タクシーについて、幹線(JR東海道線と民間路線バス)に対する支線として一体的な公共交通ネットワークを構築し、地域住民の生活行動にあった移動手段を確保することを目的としており、通院や買い物、JR東海道線や路線バスへの乗り継ぎなど、日常生活にあった移動サービスを確保維持するために必要である。</p>